

令和4年度事務事業評価表

事務事業名	社協だより発行			担当課	企画総務課	事業種別	自主事業
				担当係	企画総務係		
開始年度	昭和37年度	計画体系	「わがまち葛飾」を実現するための組織をつくります(2)情報発信・広報活動の強化				
根拠法令等							
事業区分	事業	社会福祉	拠点	法人運営事業	サービス	調査・研究・企画・広報事業	
事務事業目的	区民に社協の存在を知ってもらうことを第一とする。福祉サービスなどの必要な情報を確実に伝えていく。幅広い年代層にPRできるよう魅力ある紙面づくりを進め、福祉サービスの利用や協力につなげるだけでなく、地域福祉における社協の重要性を理解してもらい、活動への参加や会員加入等を通じて区民全体で地域福祉を推進していく。						
実施内容	【発行内容】 4ページ 年6回(4月・6月・8月・10月・12月・2月) 各回約250,314部全戸配布 点字版作成 各回約16部 ・DAISY版作成 各回約20本 【発行準備】 ①原稿作成 ②編集会議 ③委託業者(デザイナー)へ原稿提出 ④校正(3回程度) ⑤発行 【広報委員会】 理事・評議員15名で構成。年1回 次年度の編集の方向性や当該年度の改善点、年間の掲載予定などを協議。 【配布方法】 広報かつしかに折込印刷、全戸配布。区民事務所や図書館等にも送付。 【広告掲載】 1面及び4面に計8か所の広告欄 《令和3年度実績》計12件 【内訳】 4/25号:4件 6/5号:3件 8/25号:3件 10/25号:4件 12/5号:4件 2/25号:4件						

指標		指標の根拠	単位	区分	H31(R1)	R2	R3
活動	発行回数	第3次 葛飾区地域福祉活動計画	回	目標	6	6	6
				実績	6	6	6
成果	会員数	第3次 葛飾区地域福祉活動計画	人	目標	9,400	9,450	9,500
				実績	8,643	8,175	7,830
—	—	—	—	目標	—	—	
				実績	—	—	

備考	
----	--

コスト内訳(円)			H31(R1)	R2	R3
収入	特定 財源	広告料収入	385,000	440,000	632,500
	一般財源 (a)		16,581,249	16,273,651	16,238,877
支出	事業費 (b)		14,636,149	14,383,551	14,592,877
	職員人件費 (c)		2,330,100	2,330,100	2,278,500
	業務量(人)	0.30	0.30	0.30	
	間接費 (d)		0	0	0
	調整額 (e)		0	0	0
	退職給与引当		0	0	0
			0	0	0
			0	0	0
	(控)コスト対象外		0	0	0
	トータルコスト (f=b+c+d+e)			16,966,249	16,713,651

単位当たりコスト(円)		H31(R1)	R2	R3
単位の定義		配布世帯数(件)		
実績数値	(g)	245,550	249,850	244,207
単位あたり社協単コスト	(a/g)	67,527	65,134	66,496
単位あたりコスト	(f/g)	69,095	66,895	69,086

実施状況に対する評価	地域福祉に対する区民の理解と協力を得るため、今年度もデザインをリニューアルした「社協だより」を「区のお知らせ」に折りこみ、隔月で年6回(4月 6月 8月 10月 12月 2月)発行した。また、掲載記事についても、見やすさ、関心を引く内容、シンプルな紙面、読みたくなる紙面づくりなど、地域福祉や葛飾区社会福祉協議会に対する区民の理解と協力を得るための工夫を行った。
今後の方向性 【継続】	社協だよりは、区民に対し、社協の情報発信・広報活動の手段として欠かせない媒体である。今後は、ホームページやSNSとの連動性を高めることにより、紙面の都合で伝えきれない情報や最新情報を区民が得られるようにしていく。コロナ禍であっても活動している区民を紹介するなど、慢性的な担い手不足を少しでも解消できるような広報活動を行っていくとともに、社協事業を読みやすく、よりわかりやすく伝える工夫を凝らしていく。 (情報発信・広報活動の強化は、第3次葛飾区地域福祉活動計画の重点的な取組み事業に位置づけられている) ■編集にあたっての留意事項 ①事業計画書及び予算書に掲げる基本目標を踏まえ掲載していく。②ユニバーサルデザインに配慮した紙面を作成していく。③多くの区民に登場してもらう。